

満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

**2024 年春季 IIAS 塾ジュニアセミナー
－ 「独立自尊の志」 養成プログラム －
募集要項**

(1) 募集対象

高校及び大学の学生で、IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会において、受講を認めたものの概ね 20 名

(2) 応募方法

IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会事務局が管理する、Google フォームより必要事項を入力し送信。ただし、高校生にあつては、当該高等学校の教員の推薦及び保護者の同意を得たうえで「推薦書・同意書」を e-mail 又は郵送にて事務局宛てに提出する。申込締切は、2024 年 1 月 14 日（日）

(3) 受講決定

選考結果は、2024 年 1 月下旬、応募者本人宛て、「申込書」に記載された住所へ郵送により通知

(4) 開催日

【プレミーティング】2024 年 3 月 17 日（日）（オンライン）

【受講日】2024 年 3 月 23 日（土）～25 日（月）

ただし、1 月下旬、受講決定者には、テキスト等の教材を配布・配信

(5) 開催場所

公益財団法人国際高等研究所

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9-3



2023 年 11 月

主 催 : 公益財団法人国際高等研究所（IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会）
後 援 : 京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県の各教育委員会（予定）
協 力 : 京都大学、大阪大学

開講の辞

IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会
委員長 松本 紘
(公益財団法人国際高等研究所所長)



満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」は、2015年5月からは、西欧的「近代化」の先を展望するため、「日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて」をテーマに掲げ、思想・文学、政治・経済、科学・技術の各分野にわたって、日本の近代化を導いた人々の思想と行動、そしてその光と影を追い、『新たな文明』の萌芽を探ってきた。

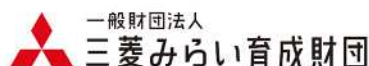
特に、2022年度からは、新たな取組みとして、「ゲーテの会」を中核とする<「新たな文明」の萌芽、探求を！>プロジェクトを起ち上げ、これまでの「ゲーテの会」の理念を継承するとともに、けいはんな学研都市の立地研究機関・企業等との連携を深め、新たな枠組みの下に人類的課題に立ち向かうこととしている。

こうした取り組みを通じて、日本の未来に思いを馳せ、「ゲーテの会」の構想の趣旨を体現する者の出で来ることを期待して、日本の未来を担う18歳前後の高校生、大学生を対象に、明治の教育者でもある福澤諭吉が目指した「独立自尊の志」養成プログラムを構想し、「IIAS 塾ジュニアセミナー」の開講を企画した。

その理（ことわり）は、現代社会において、経済成長至上主義的風潮もさることながら、教養教育の衰微の傾向の下で全人的人間形成が困難となっていることにある。次代を拓くには、遠くギリシャの先哲たちの声に耳を傾けるまでもなく、科学技術のみならず、人間力の基礎をなす哲学（理性）と芸術（感性）によって鍛えられた「独立自尊の志」を有する「全人」が求められている。それにより、高等学校、大学を問わず、心ある教育現場では、現代社会が待望するこうした人物養成への機運が高まっている。

IIAS 塾ジュニアセミナー「独立自尊の志」養成プログラムの開講は、こうした動きを背景にしてのことである。

本セミナーは一般財団法人三菱みらい育成財団の助成を受け実施しております。



プログラム（案）

（１）日程（時間割は、講師の都合等により、変更することがあります。）

■ プレミーティング 3月17日（日）

※ Google クラウドルームを活用するなどオンラインにより実施。実施時間は担当 TA と調整のうえ、受講決定者へ通知

【趣 旨】 オンデマンド学習により認識を深めた課題・論点、質問事項等の共有、及び受講決定者と担当 TA との交流懇談

【参加者】 受講決定者及び担当 TA

■ 当日受講

第1日目 3月23日（土）

- 10：00～10：30 受付（国際高等研究所）
- 10：30～10：45 プログラム内容説明
- 10：45～11：45 自己紹介（受講生／TA）
- 11：45～12：00 施設案内
- 12：00～13：00 <昼食・休憩>
- 13：00～13：15 開講式
- 13：15～15：45 （思想・文学分野）『「本居宣長」に学ぶ』
ショートレクチャー、質疑応答、グループ討議
- 16：15～17：15 TA 研究紹介
- 17：45～18：45 夕食
- 19：00～20：00 グループに分かれて交流・懇談

第2日目 3月24日（日）

- 7：30～ 8：30 朝食
- 9：00～11：30 （政治・経済分野）『「大河内正敏」に学ぶ』
ショートレクチャー、質疑応答・グループ討議
- 11：30～13：00 <昼食・休憩>
- 13：00～15：30 （科学・技術分野）『「梅棹忠夫」に学ぶ』
ショートレクチャー、質疑応答・グループ討議
- 16：00～18：00 （体験学習—心身の学）
茶道を通じて体得する「もう一つの知、身体知」
- 18：30～20：30 全体交流・懇談（夕食）

第3日目 3月25日（月）

- 7：30～ 8：30 朝食
- 9：00～10：30 全体討議
- 10：30～12：00 グループに分かれて意見交換・各自まとめ
- 12：00～13：30 <昼食・休憩>
- 13：30～16：00 レポート報告（各自）
- 16：00～16：15 <休憩>
- 16：15～16：45 講評
- 16：45～17：00 閉講式
- 17：30 解散

(2) 運営の形

ア. 事前準備

【Google Workspace・Classroom の活用について】

受講が決定した者は、使用する端末に Google Chrome ブラウザをインストールし、IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会事務局（以下、事務局）からの指示に基づき、Google Workspace のユーザー登録を受け、そのアカウントを取得する。

【学習について】

事務局からメインテキスト、講義動画等の教材の配布・配信を受け、事前のオンデマンド学習、また、受講者は討議したい事項等についてのレポートを受講届と共に提出する。なお、学習の促進を図るため、受講届を踏まえて、TA を交えてプレミーティングを実施する。

【『受講のしおり』について】※受講決定後、2 月上旬に送付予定

参加に当たっての注意事項等を記載した『受講のしおり』、その他参加に当たり作成すべき書類の配布・配信を受け、当日に備える。

イ. 当日

講師からショートレクチャーを受け、質疑応答の形を取り、論点整理（テーマ提案）。その後、そのテーマを中心に TA を交えてグループ討議を行う。プログラムの最終日に、その討議結果の概要とともに、プログラムに参加して得たこと等についてのレポート報告を、受講者各自行う。

ウ. 事後

受講修了後 1 箇月を目途に学習全般及び各分野の学習内容に関するレポート(小論文)を提出する。

(3) 宿泊場所

公益財団法人国際高等研究所の施設内にある宿泊棟を用意。

(注) 1 棟に数人が宿泊する合宿型

(4) 参加費

10,000 円。

(ただし、セミナー期間中（2 泊 3 日）の食費・宿泊費の一部負担。)

なお、メインテキスト代は主催者が負担、自宅と会場までの交通費は自己負担、サブテキストその他の教材は、各自で入手するものとする。

(5) 使用教材

ア 思想・文学分野

メインテキスト	「本居宣長」に学ぶ —「もののあはれを知る」と「漢意」、その多義性と先駆性—
講義動画	本居宣長の二つの顔
サブテキスト	田中 康二「本居宣長—文学と思想の巨人」中公新書（2014 年）
講師	田中 康二（皇學館大学文学部教授） 1965 年大阪市生まれ。神戸大学文学部卒業。同大学院文化科学研究科文化構造専攻退学。博士（文学）。 富士フェニックス短期大学専任講師・助教授、神戸大学文学部助教授、同大学院人文学研究科教授を経て、2018 年皇學館大学文学部教授。 2001 年第 27 回日本古典文学会賞（財団法人日本古典文学会）受賞。 著書に、『村田春海の研究』『江戸派の研究』（以上、汲古書院）、『本居宣長の思考法』『本居宣長の大東亜戦争』『本居宣長の国文学』（以上、ぺりかん社、宣長論三部作）、『国学史再考—のぞきからくり本居宣長』（新典社選書）『本居宣長—文学と思想の巨人』『真淵と宣長—「松坂の一夜」の史実と真実』（以上、中央公論新社、宣長伝三部作）など。 

イ 政治・経済分野

メインテキスト	「大河内正敏」に学ぶ —「科学主義工業」こそ、産学連携「理研モデル」の核心—
講義動画	—
サブテキスト	『評伝 大河内正敏—科学・技術に生涯をかけた男』日本経済評論社（2009 年）
講師	齋藤 憲（専修大学名誉教授） 1947 年、東京都生まれ。専修大学名誉教授。 早稲田大学商学部卒、同大学院商学研究科博士課程満期退学。横浜商科大学教授、関東学院大学経済学部教授、専修大学経営学部教授、同大学経営学研究科科長などを歴任。 『新興コンツェルン理研の研究 大河内正敏と理研産業団』（1987 年 時潮社）で早稲田大学商学博士、日経経済図書文化賞受賞。その他著書に『稼ぐに迫いつく貧乏なし 浅野総一郎と浅野財閥』（1998 年 東洋経済新報社）など。 

ウ 科学・技術分野

メインテキスト	「梅棹忠夫」に学ぶ —「文明論」的視点をもって考える。「旅」はその基盤—
講義動画	「梅棹忠夫」に学ぶ —「文明論」的視点をもって考える。「旅」はその基盤—
サブテキスト	梅棹忠夫『文明の生態史観ほか』中公クラシックス（2002年）
講師	小長谷 有紀（国立民族学博物館名誉教授） 1957年大阪府生まれ。1979年に、日本人女性として初めて、社会主義下のモンゴルへ留学し、以来、遊牧民たちの生業技術から儀礼まで幅広く研究してきた。1987年にはまだ文化大革命の傷が深く残る内モンゴル社会科学院に留学し、文献学の研鑽を積む。近年では、中国およびモンゴル国で口述史を収集し、社会主義化前後のリアルな記憶を鮮やかにうつしとることに成功している。長年、国立民族学博物館に勤務し、1998年には特別展「大モンゴル展」を、2011年には特別展「ウメサオタダオ展」を企画運営した。2013年春に紫綬褒章を受章した他、モンゴル国から2007年に友好勲章、2022年に北極星勲章を受章した。 

エ 体験学習—心身の学

テーマ	『茶道を通じて体得する「もう一つの知、身体知」』
講師	泉本 宗玄（裏千家 今日庵 業躰 教授方） 昭和48年1月28日奈良県生まれ。 平成9年 裏千家今日庵入庵。 平成20年 裏千家今日庵業躰昇格。 裏千家において、業躰（宗家の内弟子で家元直属の指導者）として国内外で茶道指導を行う。また、文化事業や国際親善行事では宗家に随行するなどして茶道文化の振興・普及に努めている。 現在、月刊『淡交テキスト』（淡交社）にて「茶趣としつらい十二ヵ月」を連載中。 

【参考】

講義要旨

メインテキスト及び各担当講師による講義動画は、受講決定後、1月下旬には各受講者に配布・配信することとしておりますが、参考までに、本プログラムの基となっている「ゲートの会」(※開催時のもの)における各講師の先生方のご講演要旨を借りて、その「あらまし」をご紹介します。

「IIAS 塾ジュニアセミナー」開催委員会事務局

① 「もののあはれ」こそ日本人の心性。「漢意」に異を唱える「本居宣長」(講師：田中 康二先生)

本居宣長とは何者か。日本古典文学の研究を大成した先達であると同時に、実証的に日本の優位性を主張した初めての日本人でもある。前者は国文学者の顔であり、後者は思想家の顔である。宣長は二つの顔を持つヤヌス(双面神)であった。それゆえ、どちらか一方だけを見ると、その実像をとらえ損なってしまう。評論家はそれに「宣長問題」というレッテルを貼って神棚に上げてしまった。

そこで、本講演では宣長の書いた文章に即して、国文学者としてのプロフィールを「もののあはれを知る」説を通じてとらえ、思想家としてのプロフィールを「漢意」を通して考えてみたい。いずれも宣長学を考える上で必要欠くべからざるキーワードであるにもかかわらず、かならずしも正しい理解が行きわたっているわけではない。グローバル(国際化)が合言葉である21世紀こそ、宣長の提唱した「もののあはれを知る」説を正しく理解、運用し、排他的ではない「漢意」排斥の精神を習得する必要があるということを確認したい。

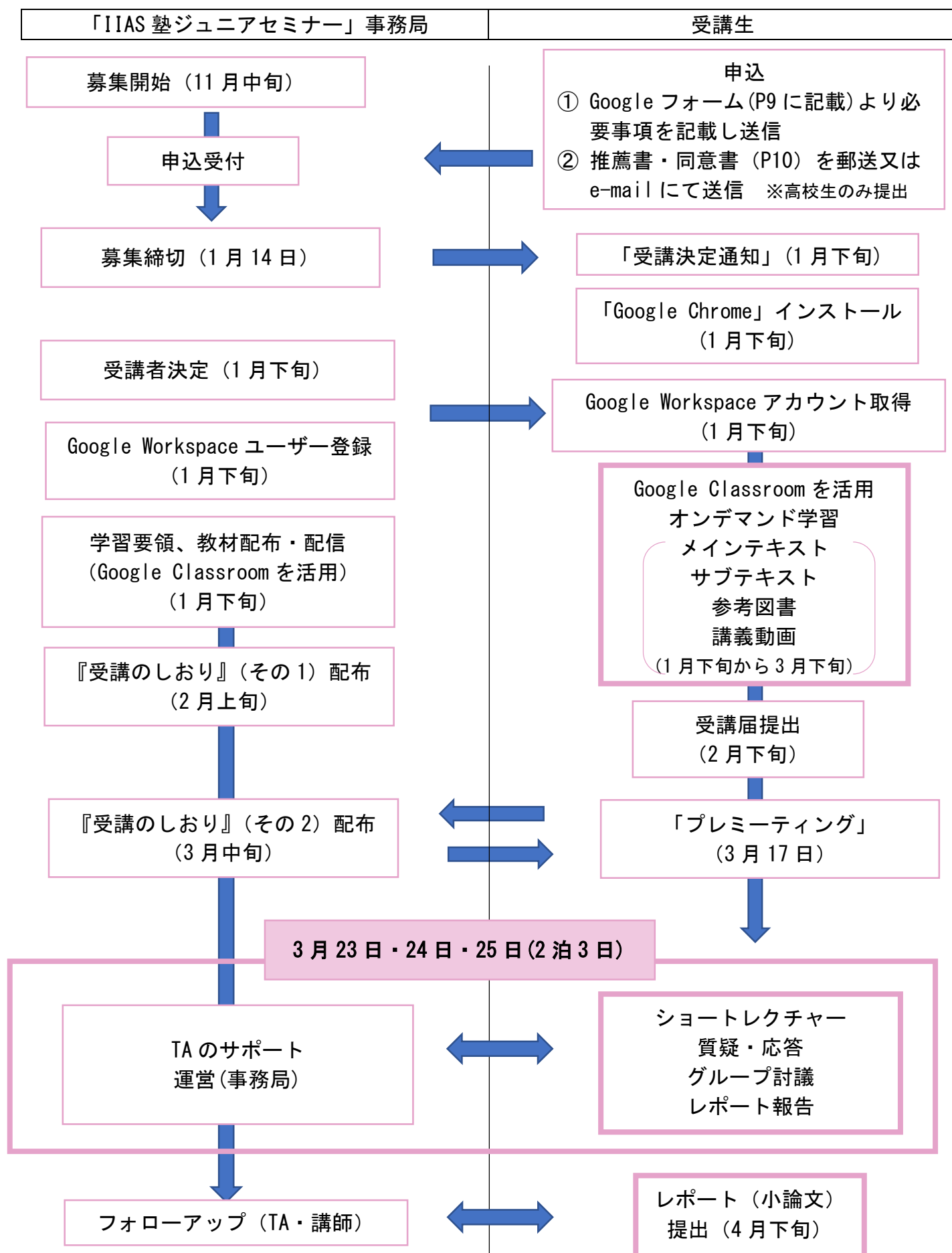
② 産学連携の先駆け『理研産業団』を育成した理研理事長『大河内正敏』(講師：齋藤 憲先生)

産学連携とは、新技術の研究開発や新事業の創出を目的として、教育機関や研究機関と民間企業が連携することなのは、現在よく知られている。しかし、そこに至るためには、多くの時間を必要とした。明治以降、外国から工業・技術を導入して産業を育成し、近代国家を目指した日本にあっては、自身の手で新技術を研究開発し、新事業を創出することなど思案の外にあった。研究開発するための教育・研究機関は不十分だったし、それを工業化する技術を持った民間企業もないに等しかった。そうした時代であって、工学に物理実験を導入して工学教育を前進させ、「外国の模倣」を脱皮するため生まれた理化学研究所の所長に就任して同所を再建し、研究資金獲得と発明の工業化を実践するために理研コンツェルンを創った男がいた。彼の活動とその背景を概観し、合わせて産学連携を促進できる諸条件を皆さんと一緒に考えてみたい。

③ 文明の生態史観を生んだ旅 ― 梅棹忠夫の“旅と思想” ― (講師：小長谷 有紀先生)

梅棹忠夫の山歩きや探検の記録は、ほぼすべて国立民族学博物館に残されており、「梅棹アーカイブズ」と総称されている。それらは現在も整備中であり、随時、公開されている。講演者は国立民族学博物館に勤務した最初の仕事として、梅棹著作集第2巻『モンゴル研究』の編集を任され、没後には、著作集に関わった最年少者であったため、追悼展を担当した。その際に、モンゴルに限らず、アフリカ、ヨーロッパなど世界中に出かけた彼の足跡を資料で追いかけて、「梅棹アーカイブズ」の全容を調査しなければならなかった。この時の経験は、拙著にまとめてあるのでぜひご参照いただきたい。今回の講演では、とりわけ「文明の生態史観」に関連する資料を取り上げ、綿密な観察と記載、素朴な発見を経て、大まかな見取り図が完成する様を確認しよう。また、そうした思索の旅の原点がモンゴル調査であったこともぜひ追認しておきたい。

受講までの流れ



応募方法について

提出（送信）するものは、次の2点です

- ① 申込フォーム（Google フォーム）より必要事項を記載し送信
- ② 「推薦書・同意書」（P10）は、郵送又はE-mailにて送信（※高校生のみ提出必須）

* いずれも締切は2024年1月14日（日）です

①申込フォームについて（Google フォーム）

■パソコンから

インターネットブラウザ（Internet Explorer, Microsoft Edge, Google Chrome など）を開き、IIAS 塾ジュニアセミナーのウェブサイト

（https://www.iias.or.jp/communication/junior_seminar）の「お申込み」をクリックし、Google フォーム にアクセス

■スマートフォンから

右記QRコードから申込専用サイト（Google フォーム）に直接アクセス



②「推薦書・同意書」について

高校生が参加する場合、提出が必須となります。

「推薦書・同意書」の様式を、公益財団法人国際高等研究所のホームページ

（<http://www.iias.or.jp/>）IIAS 塾ジュニアセミナーのページからダウンロード又は10ページをコピーし、以下のいずれかの方法で送付してください。

【E-mail】PDF にし、E-mail : iias19-2015@iias.or.jp に送付

【郵送】「公益財団法人国際高等研究所 IIAS塾ジュニアセミナー開催委員会事務局」宛てに送付

登録事項について

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 氏名（漢字） | 7. 性別 |
| 2. 氏名（ふりがな） | 8. e-mail アドレス |
| 3. 氏名（ローマ字） | 9. 連絡先（郵便番号・住所） |
| 4. 所属先（高等学校名又は大学名） | 10. 緊急連絡先（電話番号） |
| 5. 学年 | 11. 受講の動機（200 字程度） |
| 6. 生年月日 | 12. あなたの関心事項（200 字程度） |

オンデマンド学習に関する確認について

1. オンデマンド学習を進めるために使用する端末はどれですか。（PC、タブレット）
2. 授業やミーティング等で「Google Classroom」を利用したことがありますか。
3. その他、質問事項や特記することがあればご記入ください。

《問合せ先・申込み先》

公益財団法人国際高等研究所

IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会事務局

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9-3 Tel : 0774-73-4000 Fax : 0774-73-4005

E-mail : iias19-2015@iias.or.jp URL : <http://www.iias.or.jp/>

高校生は提出必須

IIAS 塾ジュニアセミナー－「独立自尊の志」養成プログラム－

推薦書・同意書

公益財団法人国際高等研究所
IIAS 塾ジュニアセミナー開催委員会
委員長 松本 紘 様

年 月 日

氏 名

高等学校名・学年

推 薦 書（高校生の場合）

上記の者は、IIAS 塾ジュニアセミナーの受講生として、適格であると認めるので、その参加を推薦します。

高等学校教員（自署）

同 意 書（高校生の場合）

上記の者が、2024 年 3 月 23 日、24 日、25 日の 3 日間、公益財団法人国際高等研究所が主催する IIAS 塾ジュニアセミナーの受講生として参加することに同意します。

保護者（自署）

＊「推薦書」及び「同意書」の様式は、公益財団法人国際高等研究所のホームページ

(<http://www.iias.or.jp/>) IIAS 塾ジュニアセミナーのページからダウンロードできます。

ただし、Web による申込みの場合は、本「推薦書」及び「同意書」を PDF 化し、Web「申込書」に添付して送付してください。

提出期限：2024 年 1 月 14 日（日）必着